

# 東京エリア デビアン 勉強会



Debian勉強会幹事 上川純一

2009年6月20日

# 1 Introduction

上川 純一



今月の Debian 勉強会へようこそ。これから Debian の世界にあしを踏み入れるという方も、すでにどっぷりとつかっているという方も、月に一回 Debian について語りませんか？

Debian 勉強会の目的は下記です。

- Debian Developer (開発者) の育成。
- 日本語での「開発に関する情報」を整理してまとめ、アップデートする。
- 場 の提供。
  - 普段ばらばらな場所にいる人々が face-to-face で出会える場を提供する。
  - Debian のためになることを語る場を提供する。
  - Debian について語る場を提供する。

Debian の勉強会ということで究極的には参加者全員が Debian Package をがりがりとするスーパーハッカーになった姿を妄想しています。情報の共有・活用を通して Debian の今後の能動的な展開への土台として、「場」としての空間を提供するのが目的です。

2009 年の計画は仮です。

1. 新年の企画 (アンサンブル荻窪開催)

2. OSC Tokyo
3. VAIO P インストール記録、カーネル読書会 ディストリビューション大集合 (小林さん)(東京大学?)
4. Git Handson (岩松)(あんさんぶる荻窪?)
5. 家 Debian サーバ vs 職場のネットワーク (千代田区都立図書館?\*<sup>1</sup>)
6. Asterisk (東京大学?)
7. スペインにて開催
8. Debconf 報告会
9. OSC Fall?
10. udev + HAL(岩松さん)
11. 3D graphics 開発 (藤沢さん)
12. Debian サーバ + VMware + 各種 OS、他の仮想化ツール (vserver etc.)、忘年会

会場候補としては下記があります：

- 大学
- 恵比寿 SGI ホール
- Google オフィス
- 公民館 (あんさんぶる荻窪等)
- 都立会議室 (無線 LAN)
- 健保の施設

\*<sup>1</sup> <http://www.library.chiyoda.tokyo.jp/>

# 今日勉強したい

---

## 目次

|   |                                  |    |
|---|----------------------------------|----|
| 1 | Introduction                     | 1  |
| 2 | 事前課題                             | 3  |
| 3 | 最近の Debian 関連のミーティング報告           | 7  |
| 4 | Debian Trivia Quiz               | 8  |
| 5 | DDTP 翻訳作業での TIPS                 | 9  |
| 6 | DDTSS の利用方法の紹介                   | 14 |
| 7 | Debian GNU/kFreeBSD をインストールしてみよう | 18 |

---

## 2 事前課題

上川 純一



事前課題は:

DDTSS (先月の PDF 資料 今月の PDF 資料参照) でいくつか (2 個以上) Debian パッケージの説明文を翻訳してみ、いくつか (2 個以上) レビューしてみ、そこの

1. 作業に適用した主要な方法
2. 発見した課題
3. 方法の改善案の提案をしてください。

この課題に対して提出いただいた内容は以下です。

### 2.1 川本健太郎

#### 2.1.1 適用した主要な方法

2009/06 の資料の「DDTSS の翻訳作業の紹介」を参考に、DDTSS にユーザー登録し、新しい翻訳・修正・レビューを 3 つずつ行いました。

#### 2.1.2 発見した課題

- “Accept with changes” すると、レビュープロセスがやり直しになるので、ちょっとした修正 (句読点の追加など) ができない
- (その前の稿との差分だけではなく) 最新稿も見たい
- 翻訳の基準がわからないので、Submit して良いのか自信が持てない
- DDTSS のサーバ証明書が不正
- Alias のルールが登録時とログイン時とで異なる (登録時は “at least 4 letter long” でログイン時は “at least 6 letter long”)

3 点目は心理的な問題ですが、どのレベルの翻訳を求められているのかわからないので、Submit をためらっ

てしまいました。(とはいえ、最終的には Submit しましたが。) 誤訳がないのは当然としても、専門用語の訳や、日本語としての自然さなど、翻訳の質が気になってしまいます。

#### 2.1.3 提案する理想像 (ツールとか)、共有したい情報

上記課題の 1 点目の対策として、“Change and restart review process” と “Accept with minor changes” との 2 つが分かれていれば良いと思います。「わずかな修正でも、レビュープロセスをやり直す」というのは、厳密性を保つためには必要ですが、“The number of translations pending review has gotten quite large.” という状況で、句読点一つ直すたびに、また 3 人のレビューワが必要になるのは現実的ではないと思います。逆に、レビューワがちょっとした修正をあきらめることで、ドキュメントがちょっと読みにくなるのは残念です。

## 2.2 まえだこうへい

#### 2.2.1 適用した主要な方法

ここでの“方法”が何を意図しているのかわからないので、ツールの使い方ではなく、翻訳のやり方という

\*2 <http://homepage3.nifty.com/hon-yaku/tsushin/bn/200209SAp2.pdf>

観点で書きます。翻訳のやり方自体は、翻訳通信 別冊『仁平和夫小論集 翻訳のコツ』\*2 を参考にしました。コツは色々あるようですが、いくつも意識するのは難しいので、次の三点だけは意識するようにしました。

- 直訳にはしないで、日本語としてわかりやすい文章を心がける。
- 長文で分かりづらければ、短文に分割してみる。
- 形容詞が連発されている部分は意図的に訳さない。

## 2.2.2 発見した課題

まず、システムのなこと。

ログインしなくてもレビュー、修正できてしまったので、ID を作っていたにも関わらず、cookie に残った情報でアクセスしているのかと思いそのまま Accept すると、ID が IP アドレスになってしまうというちょっとマヌケな自体に。

もう一つは、専門用語について。元々大学が生物学科でしたので、生物関連の専門用語に限定して話をします。学生時分に、一番困ったのは英語の文書しかないことではなくて、変な翻訳のされかたをしている用語、特にカタカナに翻訳されている用語です。

専門用語を調べるのには、通常、専門用語の辞書を使います。生物だと生物学全般、生化学、系統分類学、分子生物学、などなど、各分野で専門の辞書がありますが、変に翻訳されていると、索引から引くことができません。ですので、専門用語を調べるときは、原文（英語か、学名で使われるラテン語）で調べるのが基本です。

## 2.2.3 提案する理想像（ツールとか）、共有したい情報

前者については、DDTSS にログインしないと変更できないようにリクエストを出すのがよいのでしょうか…。

後者については、あけどさんが今回お話、提言してくださると思いますが、一般人向けに翻訳はするものの、原文は括弧書きなどで後ろに残しておくのが実際に使うユーザ（その分野の専門家）には親切だと思います。

## 2.3 明渡忠郎

### 2.3.1 適用した主要な方法

前月の DDTSS の翻訳作業を踏まえ、訳文作成の前に対象パッケージについて事前に調査した上で翻訳する方法を取ってみました。レビューでは、分からない部分が出てきた時点でググるなりして確認するというオンデマ

ンド的な方法を取ってみました。

### 2.3.2 発見した課題

パッケージの詳細について翻訳できる程度に理解するには単純に調べる程度では調査は不足で、一通りざっと翻訳してからでないと正確な翻訳を作成するのは難しいように思いました。レビューについては適用した方法で問題なくレビューできそうです。翻訳の日本語としての品質が一定していないようにも思いますので、その点の分かりやすいガイドラインが必要ではないかと思えます。

### 2.3.3 提案する理想像（ツールとか）、共有したい情報

個人的な理想を言えば OmegaT のようなツールを手軽に利用できて、翻訳辞書を全員で共有できるという仕組みがあればどうでしょうか。後は今回の資料にも書いてあるのですが、便利なツールが色々あるのでそういった情報も共有できると良いかなと思います。

## 2.4 あらきやすひろ

### 2.4.1 適用した主要な方法

とくにないかなあ。ひたすら翻訳。

### 2.4.2 発見した課題

パッケージ名いきなりじゃなくて、パッケージの所属する section がかかっていると楽なのになあ、と思いました。review がおもいのほか簡単というか、べつに Debian Developer がひとりも関係しなくてもいいんですね。ある意味おどろきかも。

### 2.4.3 提案する理想像（ツールとか）、共有したい情報

超むかし (1997 ころ) にこの手の作業をしたときはぜんぜん違いますね。でも、あいてる時間にやりたいときもあるのでオンラインではなくバッチ処理できる仕組みのこっつるとうれいかなと。

## 2.5 日比野 啓

dnswalk, gobjc-4.2, gzip, jlex 他、文章が短いもの多数をレビューしました。cl-swank, cl-uffi, cmucl を翻訳してみました。

### 2.5.1 適用した主要な方法

先月と同じく DDTSS の Web からレビューと翻訳を行ってみました。Pending review が多数ある状態が作

業効率を悪くしていると感じたので、意図的に文章が短かいものを片っぱしからレビューしてみました。

## 2.5.2 発見した課題

Pending review をつぶしていくときに、レビューできそうなものかを確認する作業の効率があまりよくないと感じました。一度見てあきらめたものかどうかを忘れてしまうので。

## 2.5.3 提案する理想像 (ツールとか)、共有したい情報

pending の一覧にマークを付けられるようにするといいかもしれません。

あきらかに意味が間違っしてしまっている訳の修正を行なったときに、リリースを迅速に行なうための調整が必要なんではないかと感じました。ポリシーがはっきりしていないような気もしますが、まずはあきらかな間違いを正したものを配布することを第一目的として、レビューを通してリリースし、そのあとでもう一度より細かい修正を行なうのが良いように思います。自戒もこめてですが、コメント欄と debian-doc ML を活用しましょう。

## 2.6 キタハラ

### 2.6.1 作業に適用した主要な方法

Web 上の「エキサイト翻訳」と「英辞郎」を利用した。

### 2.6.2 発見した課題

「DDTSS login」すると「ddtp.debian.net は不正なセキュリティ証明書を使用しています。」って出るのが…。(ってのはもちろんネタで、ぱっと思いつかないので) DDTSS 自体の日本語化、ということで。

### 2.6.3 方法の改善案の提案

基本的に「翻訳する人」が使うツールなので、英語が読めること前提で良いのですが、英語が読めなくても「日本語として読みやすいか？」をレビューするだけならば参加してくれる人が多いような気がする。DDTSS が日本語化されていれば、そういう人達にとっては参入障壁が低くなると思います。(それとは別に、翻訳の支援ツールが翻訳されていないのは、何となく「紺屋の白袴」な気がする…。)

## 2.7 なかおけいすけ

### 2.7.1 作業に適用した主要な方法

事前に公開されていた今月の PDF 資料を参考に、DTSS にアカウントを作り、主に GNU R 関連の翻訳とレビューを 2 件ずつ行いました。ツールはブラウザと紙の辞書で行いました。

### 2.7.2 発見した課題

GNU R は統計ソフトなので、解析手法と思われる専門用語を訳してよいものか迷いました。物理屋としては、読んでいる専門書はほとんど英文なので、専門用語は英語のままでもかまわないと思います。実は日本語のほうを知らないということもままあります。

### 2.7.3 方法の改善案

専門用語に関しては、手っ取り早く <http://www.alc.co.jp> でひいてしまいがちですが、物理であれば、物理学用語辞典や理化学辞典で調べるべきでしょう。とはいえ、ボランティアベースの翻訳プロジェクトでは、そのような専門辞書にアクセスすることができない場合も多いと思うので、その時はあえてその専門用語は原文のままでもよいと思います。可能であれば、そのプログラムを使いたい専門家が訳するべきでしょう。

## 2.8 高橋 “masaka” 正和

### 2.8.1 適用した主要な方法

はじめての DDTSS をやってみました。

新規で翻訳するほうは、perl のモジュールをやってみました。元の description が Perl モジュールの POD からサマっているので、POD の翻訳をする perldoc.jp から訳文をもってきてサマるという手抜き。ちょっと改変を入れたりしました。

レビューのほうについては、こんな( ) 感じで言い回しをいじってみました。

- 指示代名詞が多いと、つながりが一瞬わかりづらいので、できるだけなくした
- 原文の対一対応だと回りくどい言い回しになる部分があるので、削った

### 2.8.2 発見した課題

はじめてのレビューは、どこまでいじっちゃっていいのかわからなくて、ドキドキでした。特に、どこまでく

だいた言い回しにしちゃっているのかとか。

でも、ツッコミはまだしも、OK を出すのはもっとドキドキでした ><

あと、perldoc.jp の訳文のライセンスは、元の Perl モジュールのライセンスと解釈したけど、それでいいのか確信は持てないです。

言葉遊びだらけの description は、どう訳すか決めかねたので、見送りました。具体的には、libyaml-perl の short description が「YAML Ain't Markup Language (tm)」とか。

### 2.8.3 提案する理想像 (ツールとか)、共有したい情報

- 先人の文例を調べられるとうれしいです。対訳を英文で検索、とか。理想は翻訳メモリみたいなもの
- upstream に対して翻訳しているプロジェクトがすでにある場合、そこと話がついてるとやりやすいかも

## 2.9 山本 浩之

### 2.9.1 適用した主要な方法

英和辞書と Cross Translation を用いて、ひたすら。

### 2.9.2 発見した課題

- コメントがついていれば、それぞれの翻訳者・査読者の考え方が分かって良い。
- 一つ前の稿より、現時点の稿のほうを英文の近くに持ってきてもらいたい。(特にレビューの時)
- 機械的改行されてしまう。
- ログインに失敗していても、編集できてしまった。
- DDTSS のサーバ証明書がおれおれ証明書。

### 2.9.3 提案する理想像 (ツールとか)、共有したい情報

一行の文字数の制限を明示してもらいたい。(あと何文字とか)

## 2.10 吉野与志仁

### 2.10.1 適用した主要な方法

2009 年 5 月、6 月の資料を参考に、DDTSS で翻訳とレビューを行いました。

### 2.10.2 発見した課題

- 自分が翻訳 or 修正した (owner の) ものをさらに修正すると、自分の変更だけ diff がとられることがある
- かなり前に fetch されていて、既に原文や (DDTSS 以外により) 訳が更新されていることがある
- spammer に荒らされて訳やコメントが消されたりすることがある
- owner のものでコメント部分のみが変更されても、開かないと気づかない

### 2.10.3 方法の改善案

- 自分より前の人の変更から diff がとられるといいのかもしれませんが。ただ、既に DB に訳があった場合は、それとの diff もあるといいかもしれません。
- ほぼ毎回 Force fetching... にチェックして fetch していましたが、各ページにボタンがあると使いやすいと思います。
- IP からの書き込みを制限したほうがいいのかもかもしれません。
- Message for you に comment の変更が通知されてもいいかもしれません。

## 3 最近の Debian 関連のミーティング報告

上川 純一



### 3.1 東京エリア Debian 勉強会 52 回目報告

東京エリア Debian 勉強会報告。2009 年 5 月 16 日土曜日に東京エリア Debian 勉強会の第 52 回を練馬区のサンライフ練馬にて開催しました。隣の部屋からは三味線と謡 (?) の練習の音が聞こえる和室での開催、和やかな雰囲気でした。今回の参加者はあけど、山本、小室、日比野、でん、きたはら、前田、藤澤徹、やまだたくま、吉田@板橋、高橋 (masaka)、やまねひでき、上川 x 2 の 14 名でした。

まず、クイズ。

藤澤徹さんが MCMPI パッケージを ITP してみたので報告。一步一步公式パッケージ化に進んでいるようです。

前田さんが erlang を使ってみたので報告。Debian でどのパッケージをいれたら動くのかはわかりました。

上川が Android 開発環境を Debian をつかってみたので報告。とりあえずデモアプリを動かすことができました。

その後、DDTSS のワークフローについてディスカッション。過去の経緯から掘り起こして語って見ました。2003 年くらいからすでに Debian Description を翻訳するためのフレームワーク DDTP は登場していたのですが、利用する側の仕組みが十分整備されていませんでした。2008 年くらいに apt 側も Debian アーカイブ側も翻訳をサポートしたのでそろそろやってみるか、と眺めてみました。10 年前に議論した結果をまとめた Debian JP の文書作成の指針という文書 (SVN:www/trunk/src/community/translate/debiandoc-guidelines-ja/debiandoc-guidelines-ja.sgml) があるだとか、当時作成した SKK 形式で用語の対訳表 (SVN:www/trunk/src/community/translate/trans\_table/table.skk) があるだとかいう話題が出ました。議論するための情報が十分集約されていないので継続して、来月は資料を準備しなおしてあらためてこのテーマで議論することになりました。

宴会は駅前の「のみくい処 仲々」にて。



## 4 Debian Trivia Quiz

上川 純一



ところで、みなさん Debian 関連の話題においついていますか？ Debian 関連の話題はメーリングリストをよんでいると追跡できます。ただよんでいるだけではりあいがないので、理解度のテストをします。特に一人だけでは意味がわからないところもあるかも知れません。みんなで一緒に読んでみましょう。

今回の出題範囲は `debian-devel-announce@lists.debian.org` に投稿された内容と Debian Project News からです。

問題 1. ヨーロッパに新設されたアップロードキューの名前は？

- A ftp.eu.upload.debian.org
- B ftp.uk.upload.debian.org
- C ftp.jp.debian.org

問題 2. 新しいアップロードキューで新しくサポートすることになる通信プロトコルは？

- A ipv6
- B sstp
- C RFC2324

問題 3. GPG キー再作成祭りはなぜ発生したか？

- A そろそろ sha-1 が脆弱になったと思われるから
- B 惑星が直列するから
- C GPG が自由でなくなったから

問題 4. `packages.debian.org` メールについて何がアナウンスされたか

- A `debian.org` 以外からメールを受信しなくする
- B `debian.org` 以外からしかメールを受信しなくする
- C `debian.net` 以外からメールを受信しなくする

問題 5. eeePC は 5 月時点で何機種あるか

- A 16
- B 24
- C 32

問題 6. Debian が `glibc` の代わりに採用すると発表した `libc` はなにか

- A `newlib`
- B `eglibc`
- C `BSD libc`

問題 7. `debian-cli` というメーリングリストは何をするところか？

- A `command line interface` について語る場所
- B `common language infrastructure` について語る場所
- C `cat-linux interface` について妄想する場所

問題 8. Debian policy 3.8.2 で変わった点はどれか。

- A `debconf` 必須
- B X は廃止になりました
- C MS EULA が認定ライセンスに含まれた

問題 9. `gluck` はいつ廃止になるか

- A 6 月末
- B Squeeze リリース時
- C Lenny リリース時



## 5 DDTP 翻訳作業での TIPS

あけど

### 5.1 はじめに

Debian Package をインストールする際に参考する情報、“Description” 昔はすべて英語でしたが、最近はずこしづつ日本語になってきているのはご存知でしたか? Debian Description Translation Project は Debian Package の Description 文 (パッケージの内容を説明する文章) を日本語にするためのプロジェクトです。<sup>\*3</sup>

日本語の翻訳の進捗は図 1 の状況です。

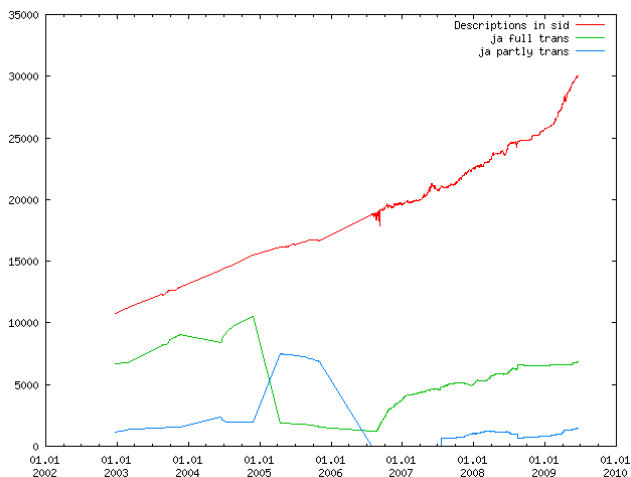


図 1 日本語の状況

前回、5 月の東京エリア Debian 勉強会でトピックに挙げていました DDTSS について、作業上の留意点などをまとめてみました。DDTSS については運用ルールなどで明確になっていない部分もありますので、その議論を深める材料になればと思います。このセクションはこれから翻訳を始めてみようという方へのガイドとしても考慮したつもりです。なお、このセクションにおいての幾つかの見解は筆者の個人的見解が多分に含まれていますので、その点ご留意頂ければと存じます。

<http://tokyodebian.alioth.debian.org/pdf/debianmeetingresume200905.pdf> p.31 「8 DDTSS 活用」

### 5.2 ガイド等の文書の把握

5 月の資料にまとまっていますが、その後に作成されたページをご案内します。

<sup>\*3</sup> DDTP サイト: <http://ddtp.debian.net/>

- DDTSS\_ja/Faq - Debian Wiki [http://wiki.debian.org/ja/DDTSS\\_ja/Faq](http://wiki.debian.org/ja/DDTSS_ja/Faq)

以下は 5 月の再掲です。

- Debian パッケージの説明文を日本語で読みたい! ~DDTP へのお誘い~ <http://www.debian.or.jp/community/translate/description-ja.html>
- 武藤健志さんの blog の『Debian ドキュメント翻訳手続き』: <http://kmuto.jp/d/index.cgi/debian/debian-doc-procedure.htm>
- 小林儀匡さんの Debian 勉強会 2006 年 9 月資料「翻訳への誘い」: <http://tokyodebian.alioth.debian.org/pdf/debianmeetingresume200609.pdf>
- debian-doc メーリングリスト: 主要な議論が行われています。質問なども、こちらで。

### 5.3 翻訳 (辞書) サイトの利用

翻訳するのに十分な知識があればそもそも辞書は必要無いのかも知れません。印刷された辞書を使うのはインターネット接続がない環境では有効ですが、コンピュータを使う現代的な環境であればインターネット接続はほぼ不可欠でしょうから、オンラインの翻訳サイトを利用しない手はありません。以下にお勧めのサイトをご紹介します。

- 英単語辞書
  - 英辞郎 on the web スペースアルク <http://www.alc.co.jp/> 収録単語の量、質、訳がそれぞれ秀逸です。スラング等の現代語から専門用語まで幅広く、また対象の英単語が含まれる例文が実例に基づいていて実用的な訳を得られます。(このサイトを利用しているだけで、中学、高校で受けた英語が英文学を主眼に置いたものだと実感しました。)
- 文章翻訳
  - Yahoo!翻訳 <http://honyaku.yahoo.co.jp/> 文単位での訳と原文の対応が付くので、長い文章や複雑な文章の翻訳に向いています。
  - 英語翻訳 - エキサイト 翻訳 <http://www.excite.co.jp/world/> 自然な表現の日本語訳を得られます。カタカナ語の訳語をかなり上手く当てはめてくれたりします。
  - Cross Translation::色々な翻訳サイト・翻訳サービスの一括、横断翻訳 <http://sukimania.ddo.jp/trans/trans.php> 上記の Yahoo!翻訳、エキサイト 翻訳などの翻訳サービスにて一括で翻訳するサービスです。翻訳に迷った時の参考になるでしょう。但し、全てのサイトでの結果を得るには多少時間がかかります。

他にも辞書・翻訳サイトは多数ありますので、各自で探してみてください。

### 5.4 Google で「Debian」+「対象のパッケージ名」を検索

Debian パッケージの過去バージョンで既に翻訳されている事がありますのでそれを参考にすることもできます。

(注: DDTSS に訳が取り込まれていない場合があります。)

### 5.5 分かりやすい文章にするための幾つかの手法

- 直訳の表現が日本語的に分かり難い場合
  - 意識した方が分かりやすいならその方が望ましいです。
- ドイツ系の方が書いた英語で、関係代名詞が多用されていて直訳では日本語として分かり難い文章になることがよくあります。
  - そういった場合には、文を分かりやすいサイズに区切りましょう。
- 専門用語と思われる訳語が直訳では意味が分かり難い事があります。

専門用語はその分野での良く使われる訳語の表現を調べるようにしましょう。

(注:下記に注意点をまとめました)

## 5.6 DDTSS 限定 TIPS

- コメント欄の活用

そのパッケージの翻訳に関しての注意事項などをレビューする人に向けて書いておくこととレビューの際の参考になります。専門用語や意識など、普通とは違う翻訳をした場合などにその理由などの根拠を書いておくことと次の段階のレビュー作業をする人に理解してもらいやすくなります。

- Accept with changes がクリックできない場合

翻訳文だけを更新した時に Accept with changes がグレーアウトしたままでクリックできないときがあります。タイトル部を変更することで対応できます。以下はその手順です。

1. タイトルに空白等を追加する。
2. Tab キーで次フォームにカーソルを移動すると、タイトルが更新されたとみなされ Accept with changes がクリック出来るようになります。
3. タイトルに追加した空白等の文字を削除し、元に戻します。
4. Accept with changes をクリックします。

## 5.7 専門用語の扱い

- 専門用語の見分け方

決め手はありません。パッケージの説明に記述された関連分野から推測するか、その分野について (必要に応じて) 調べる事を念頭に置いて作業するのが良いでしょう。

- パッケージ説明で良く見かける専門分野とその専門用語及び良く使われている訳語 \*4

- 生物学、バイオインフォマティクス (biology, bioinformatics)

DNA 解析に関するパッケージが多数あります。

annealing: アニーリング、(遺伝アルゴリズムの焼きなまし法 (Simulated Annealing)、機械加工の熱処理とは別のもの)

align, alignment: アライン、アライメント、整列

multiple alignment: マルチプルアライメント

multiple sequence alignment: マルチプルシークエンスアライメント、(複合配列整列)

polymerase chain reaction: ポリメラーゼ連鎖反応、略語 PCR、ポリメラーゼチェーンリアクション

sequence: シークエンス、(遺伝子などの) 配列

- アマチュア無線 (hamradio) band: 周波数帯、バンド

CW: 電信

modem: モデム

Sporadic E layer: スポラディック E 層 (sporadic を突発的と訳さないのが一般的です。)

N meter band: N メーターバンド (波長を周波数帯の別名として呼ぶのはアマチュア無線では一般的です。)

- その他、複数の分野にまたがる用語

Markov chain: マルコフ連鎖 統計学、数学、物理学、統計力学、情報科学

---

\*4 この段落付近は筆者の経験に大きく依存しています。

## 5.8 専門用語の訳についてのルール

どう扱うかのルールは未だ決まっていません。

現状の対応

各々の分野のサイトでの表記を参考にしています。

良く使われる表記が複数ある場合はケースバイケースで妥当と思われるものを採用しています。

例) multiple sequence alignment の訳語

1. 多重配列整列
2. 多重配列アライメント
3. マルチプルシーケンスアライメント

この様な専門用語について今まで耳にした意見を挙げてみます。

1. 日本語より英語での表現が一般的であれば訳さない方が利用者にとって便利なので、訳さないかせいぜいカタカナにして持ってくるのが良い。例) CPU, メモリ, DHCP, etc
2. 日本語の訳が複数あり、利用状況がまちまちであるなら上記の案を勧告してパッケージ検索時の利便性を重視して、日本語の表記に ( ) 括弧内に原文の語を示すのはどうか？

例) multiple sequence alignment

1. 多重配列整列 (multiple sequence alignment)
2. 多重配列アライメント (multiple sequence alignment)
3. マルチプルシーケンスアライメント (multiple sequence alignment)

日本語の表記にばらつきがありますが、パッケージ検索で意図した内容は実現できそうです。ただし、このような語句が多いと見やすさを損なうかもしれません。

3. その他、ご意見募集中

## 5.9 最後に

記述にあたって、様々な方々との (会話なども含む) やり取りを参考にしました。翻訳サイトの案内については吉田@板橋さんの小江戸らくでの発表を参考にしました。DDTSS での作業についての助言や、このセクションの構成については、やまだたくまさんからのアドバイスを参考にしました。また、他の皆さんからのご意見が大変参考になりました。そういったものもできるだけ盛り込んだつもりです。DDTSS により翻訳作業のしきいは大きく下がったと思います。様々な人が少しでも多く DDTSS で翻訳作業に参加できるようになれば、作業の量だけでなく質も向上させることができると期待できます。

## 5.10 追加：第 53 回東京エリア Debian 勉強会で出された意見

- 日本語としての自然さなど、翻訳の質が一定しないのはどうかと思う。
  - 何か基準があれば良い？
  - でも、基準を作るのは難しいし、それより沢山の人が色々な観点からレビューする方が有効ではないか？
- 翻訳のコツとして心がけていること
  - 直訳より、日本語として分かり易い文章になるようにする。
  - 長文は短文に分割する。
  - 形容詞が連続する部分は (強調の意味が大きいので) 意図的に訳さない。
- DDTSS 利用上の注意点
  - ログインしなくても翻訳できてしまうので必ずログインするようにしましょう。

- 専門用語について
  - 下手に日本語に訳されていると検索で見つからないので、敢えて訳さずに原文のままの方がいい
  - LANG=C aptitude search ~ とすると英語での検索になるが、それではどうか？
  - 専門用語の訳語が複数あって適用される状況がまちまちな場合があるが、どうするのが良いか？
  - ガイドラインを設定するのはどうか？
  - ガイドラインを用意するのは難しいし、それより適用事例をまとめたものを用意した方が使いやすい
- 翻訳が未経験または自信の無い人はレビューから始めたらどうか
- OmegaT のような翻訳ツールを活用して翻訳辞書 (翻訳事例) を共有できると、翻訳の質が安定するのでは？
  - OmegaT についてはもっと情報を集める必要がある



## 6 DDTSS の利用方法の紹介

やまだたくま

### 6.1 はじめに

Debian パッケージの説明文を翻訳するプロジェクト DDTP にある Web インタフェース DDTSS の使い方を簡単にご紹介します。

### 6.2 アカウント作成とログイン

<http://ddtp.debian.net/ddtss/index.cgi/ja> を開いて、一番下にある [Create Login](#) をクリックします。



E メールアドレス (Email Address) とログイン名 (Alias)、本名 (Real Name)、パスワードを 2 回入力 (Password, Retype Password) して Submit ボタンを押して送信すると、アカウント作成は完了です。Alias は各種ログの表示で使われます、英文字のわかりやすい表記にしましょう。

### DDTSS create login

A login on the DDTSS is only used so you can keep the status of what you've reviewed between machines. Normally the system tries to guess if you're coming from the same machine and if that's the case, you do not need a login. If you keep using different machines however, a login may be useful.

Email address:

Alias:

Real Name:

Password:

Retype password:

An email will be sent to the given address to confirm it. Any accounts not used for 14 days will be removed.

アカウントを作成したらログインします。作業画面の右上にアカウントの情報が表示されます。

#### Infos about [account name]:

- Account: [account name] [↑アカウントの本名](#)
- logged\_in ([Logout](#)) [←アカウントのログイン名](#)
- Translations: 15 [←Pending translation の処理数](#)
- Reviews: 484 [←Pending review の処理数](#)

## 6.3 DDTSS で行ってほしい作業 - レビュー

現在 DDTSS でもっとも必要な作業は「レビュー」です。レビューの対象は、次の場所に表示されています。

Pending review (98)

1. bristol (needs initial review)
2. pngquant (needs initial review)
3. adesklets (needs initial review)
4. inventor-demo (needs initial review)
5. emboss (needs review, had 1)

パッケージ名をクリックすると内容が表示されます。その内容を見て、簡単そうならレビューをします。難しいと思ったら、次のパッケージへ飛ばしてかまいません。

### Reviewing nanoblogger

- # Source: nanoblogger
- # Package: nanoblogger ←通常は Debian パッケージ名
- # Prioritize: 48

Short description ←簡単な説明

- Untranslated: Small weblog engine for the command line
- Translated (ja): コマンドライン向けの小さなウェブログエンジン ←ここを確認して、修正する

Long description ←詳しい説明

(Note: You must preserve the number of paragraphs)

- Untranslated:

NanoBlogger is a small Weblog engine written in bash. It uses common Unix tools such as cat, grep, and sed to create static HTML content. It's command line driven and supports archiving by category, year, month, day, and entry. It's designed to be modular, flexible, and independent of external databases.

Diff to previous revision (Old Version)(New Version) ← fetch 前の版 (赤) と最新版 (緑) の差分

NanoBlogger は bash で書かれた小さなweblogなウェブログエンジンです。cat, grep や sed といった普及した Unix ツールを利用し、静的な HTML コンテンツを作成するのに cat や grep や sed などの一般的な Unix ツールを使用する。  
それはコマンドラインで動作し、カテゴリ、年、月、日、およびそしてエントリーで格納ことのあるアーカイブをサポートします。  
それは、モジュラー化され設計で、柔軟性があり、でかつ外部のデータベースから独立するようするのアーカイブをサポートします。  
それは、モジュラー化され設計で、柔軟性があり、でかつ外部のデータベースから独立するよう設計されているに依存しません。

- Translated (ja): Non-breakspace note Textwrapping note

NanoBlogger は bash で書かれた小さなウェブログエンジンです。cat, grep や sed といった普及した Unix ツールを利用し、静的な HTML コンテンツを作成します。コマンドラインで動作し、カテゴリ、年、月、日、そしてエントリーごとのアーカイブをサポートします。モジュラー設計で、柔軟でかつ外部のデータベースに依存しません。

←ここを確認して修正する

Comment field: (free form, for discussion about translation. Saved even if you abandon.)

ですます調を使います。

lennyの訳をベースにしました。

←コメント欄  
(作業者間の連絡用)

Accept as is Accept with changes Change comment only

'Accept as is' means you agree with this translation. 'Accept with changes' means you made changes. In that case the review process will start again.

Note: the owner is: yy\_y\_ja\_jp (Write a message), reviewer are: koedoyoshida (Write a message)

Log:

1195346037 fetched by 217.196.43.134  
1195346037 processed from todo  
1242418901 updated text by kita\_3 (ii)  
1243479116 updated text by YY\_Y\_ja\_jp (mM)  
1243479343 updated text: hv vv v ia in (mm)

←ログ

[Accept as is] 修正不要で OK

[Accept with changes] 翻訳を修正する,

[Change comment only] コメント記入のみ



## Raw form:

```
# Source: nanoblogger          ←DDTP (メールインターフェイス) 形式
# Package: nanoblogger
# This Description is active
# This Description is owned
# Prioritize: 48
Description: Small weblog engine for the command line
NanoBlogger is a small Weblog engine written in bash. It uses common Unix
tools such as cat, grep, and sed to create static HTML content. It's command
line driven and supports archiving by category, year, month, day, and entry.
It's designed to be modular, flexible, and independent of external databases.
Description-ja: <trans>
<trans>

# other Descriptions of the nanoblogger package with a translation in ja:
#
# Description-id: 10475 http://ddtp.debian.net/ddt.cgi?desc_id=10475
# patch http://ddtp.debian.net/ddt.cgi?diff1=10475&diff2=39759&language=ja
# This Description was in sid from 2005-07-16 to 2007-04-17;
# This Description was in etch from 2005-07-16 to 2007-11-18;
#
```

## 6.4 レビューする

翻訳内容に問題ないと判断できた場合は、[Accept as is] ボタンをクリックしてください。

'Accept as is' means you agree with this translation. 'Accept with changes' means you made changes again.

Note: the owner is: [yy\\_y\\_ja\\_jp](#) ([Write a message](#)), review Log:

レビューをすると、表示される場所が変わります。さらにレビューが必要な場合は、次のようになります。

### Reviewed by you (25)



1. [gpsbabel](#) (owner, had 0)
2. [tlf](#) (owner, had 0)
3. [colrdx](#) (owner, had 0)
4. [sbsd](#) (owner, had 0)
5. [wsjt](#) (owner, had 0)
6. [tucnak2](#) (owner, had 0)

連続して 3 人がレビューをすると、翻訳作業が完了します。完了後は次のようになります。

### Recently translated



1. [cvs](#) (ok) Sun Jun 7 18:26:58 2009
2. [sunclock](#) (ok) Sun Jun 7 17:22:15 2009
3. [ly](#) (ok) Sun Jun 7 17:22:15 2009
4. [pymol](#) (ok) Sun Jun 7 06:48:29 2009
5. [z8530-utils2](#) (ok) Thu Jun 4 12:13:50 2009
6. [nanoblogger](#) (ok) Thu Jun 4 05:56:30 2009

途中で誰かが翻訳を修正したら、再び 3 人のレビューが必要になります。

## 6.5 レビューを修正する

翻訳内容にすぐ修正が必要ななら、テキストを変更してから [Accept with changes] ボタンをクリックしてください。なるべくコメント欄 (Comment field) に変更内容を記入してください。

'Accept as is' means you agree with this translation. 'Accept with changes' means you made changes again.

Note: the owner is: [tyamada](#), reviewer are:

Log:

## 6.6 翻訳を新規に作成する

翻訳を新規に作成する場合は Pending Translation から選択してください。レビューの際と違うのは、選択肢が Abandon (翻訳を中止する) と Submit (翻訳を確定しレビューにまわす) の二つになっている点です。

## 6.7 debian-doc ML へのお誘い

翻訳の内容に疑問があったり、相談が必要だと思ったり、レビューや修正で (小さくない) 変更があったら、debian-doc ML に流してください。

debian-doc ML の宛先は、[debian-doc@debian.or.jp](mailto:debian-doc@debian.or.jp)

参加方法は、<http://www.debian.or.jp/community/ml/openml.html#docML>

質問や相談はフリーフォーマットです。

レビューを依頼するときは、次のメール例を参考にしてください。

(メールの例)

```
Subject: DDTSS レビュー icedax
xxx です。
xxxx さんが修正した icedax をレビューしました。

Short description
原文: Creates WAV files from audio CDs
訳文: オーディオ CD から WAV を生成する

Long description
原文:
icedax lets you digitally copy ("rip") audio tracks from a CD, avoiding
(略)
訳文:
icedax により、CD からデジタルでオーディオトラックのコピー ("リップング")
(略)
用語を一部修正しました。
デジタル->デジタル

修正後:
icedax により、CD からデジタルでオーディオトラックのコピー ("リップング")
(略)
修正処理をしましたので、内容の確認をお願いします。
```

## 6.8 debian-doc ML だけでレビューする

「DDTSS をやる時間がないよ」という方は、debian-doc ML に流れているレビューや翻訳完了のメールを確認して、何か問題が見つけたらメールに返信してください。きっと誰かが DDTSS に反映するでしょう。

## 6.9 最後に

DDTSS は仕組み上レビューが大量に必要になります。多くの人に参加していることが前提になっています。なので、翻訳が正しい内容なのかを利用者の視点でレビューしてくれると助かります。



## 7 Debian GNU/kFreeBSD をインストールしてみよう

山本 浩之

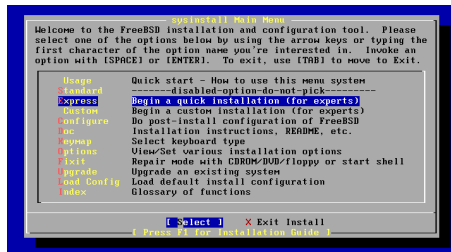
今年 4 月 5 日に正式に Debian archive に入った Debian GNU/kFreeBSD ですが、現時点で最新インストーラである debian-20090117-kfreebsd-i386-install.iso (2009/1/17 製) を使ってインストールしてみました。

英文ドキュメント <http://glibc-bsd.alioth.debian.org/doc/>

```
wget http://glibc-bsd.alioth.debian.org/install-cd/kfreebsd-i386/current/debian-20090117-kfreebsd-i386-install.iso
```

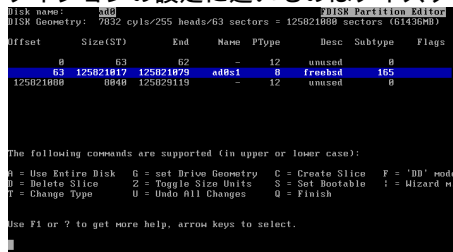
このイメージにある kernel は、FreeBSD 7.1R のものですが、インストール後、7.2R の kernel にアップグレード可能です。

今回は VMware の仮想ディスクにインストールを試みました。インストーラは、現在のところは、FreeBSD 用のものを一部改造したもののようです。インストーラを CD イメージから起動します。とりあえず Express (または



Custom) でインストールしてみましょう。

まず最初にするのは、Linux と同様、インストールするディスクを指定します。fdisk が起動しますが、ここで注意しなくてはならないのは、Linux とはディスクの指定の仕方が違うことです。FreeBSD では、hda1 にあたるものは、ad0s1 で、スライスと呼びます。FreeBSD では伝統的に、使用する領域全部を先にスライス (ad0s1) として確保し、その中にディスクラベルをつけることによって小分けして (ad0s1a、ad0s1b など)、それぞれのマウントポイントを作ります。Linux の場合のパーティションの設定に近いものはディスクラベルかもしれません。とりあえず

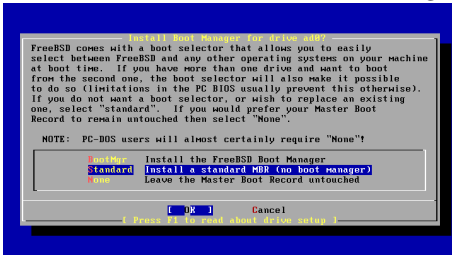


”A” で、空き領域全部指定しましょう。

次にブートローダの書き込みですが、デフォルトでは FreeBSD Boot Manager という FreeBSD 専用のプログラムが使用されます。もし既存の grub が使いたい場合には、ここでは書き込まず (None を指定)、インストール後に、既存の grub が使っている /boot/grub/menu.lst に

```
title Debian GNU/kFreeBSD
root (hd0,0,a)
kernel /boot/loader
```

とか書けば良いそうです。仮想ディスクなどに対してのインストールで、マルチブートの必要が無い時は "Standard" を選んでください。FreeBSD Boot Manager を使ってマルチブートしたい場合にのみ "BootMgr" を選んで



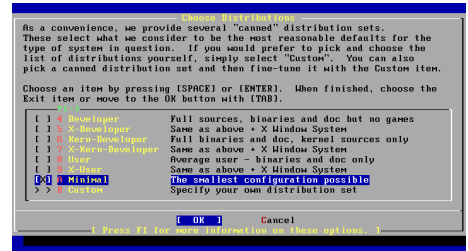
ください。

次に FreeBSD Disklabel Editor が起動し、スライスの中に、さらにマウントポイントとしていくつもディスクラベルをつけます。それぞれ ad0s1a ad0s1b ... などとなります。"/" のため、少なくとも一つはディスクラベルをつける必要があります。もし、"/usr" とか "swap" とかを分けたいときにはここで選びます。"A" で、自動的に割り振



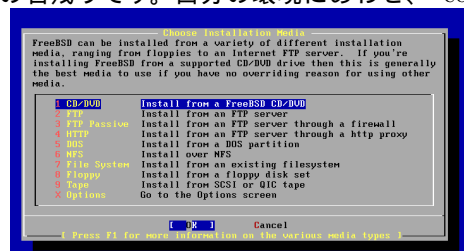
ることも可能です。

そして Distribution の選択 (Choose Distribution) ですが、ここでは必ず "A Minimal" を選択してください。ここで色々な選択肢が出てきますが、これは元の FreeBSD のインストーラだったころの名残りで、これは Debian のイン



ストーラですから、FreeBSD の Distribution は全く収録されていません。

次はインストールメディアの選択 (Choose Installation Media) ですが、ここでは必ず "1 CD/DVD" を選択してください。その他の選択肢は FreeBSD のインストーラだったころの名残りです。自分の環境にあわせ、"cd0"

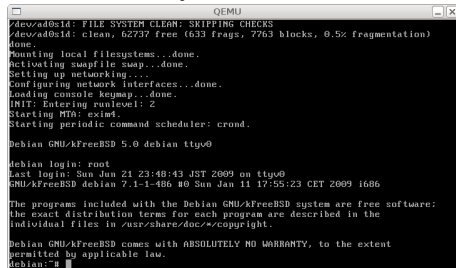


(SCSI) または "acd0" (ATAPI) を選べば、インストールの始まりです。

途中で、"Alt-F3" を押すよう指示がありますから、それに従うと、Debian GNU/Linux でお馴染みな、タイムゾーンの設定とか popularity-contest の設定とかができます。Debian GNU/kFreeBSD 特有なものは、module-init-tools の設定で、これは FreeBSD カーネルのモジュール名を選ばなければなりません。ネットワークカードモジュールとサウンドカードモジュールとその他のモジュールが出てきますが、詳しくは FreeBSD 本家のドキュメントを見てください。私の場合は VMware ですので、サウンドカードモジュールの "snd\_les137x" のみ選びました。



最初の画面に戻ってきたらインストールは終わりです。タブキーで "X Exit Install" を選び、再起動して下さい。最初は root ユーザのみがパスワード無しで出来ています。ユーザ名 root を入力すると、パスワードをきかれずにログインできます。



root でログインしたら、まずは passwd コマンドでパスワードを変更しましょう。

```
passwd
```

次にネットワークの接続をします。Linux の eth0 にあたるものは le0 (VMware の場合) または ed0 (Qemu の場合) のようです。dhcp3-client パッケージは既にインストール済みのはずですから、DHCP 環境<sup>\*5</sup>の人は /etc/network/interfaces を編集しなくても

```
dhclient3
```

でネットワークに繋がるはずですが、固定 IP の人は、以下を参考にして、それぞれのファイルを編集して下さい。

```
##/etc/network/interfaces の例
auto lo0
iface lo0 inet loopback
## Static network
auto le0
iface le0 inet static
address 192.168.0.3
network 192.168.0.0
netmask 255.255.255.0
gateway 192.168.0.1
```

```
##/etc/resolv.conf の例
nameserver 192.168.0.1
```

その後、

```
ifup le0
```

で、ネットワークに繋いで下さい。インターネットに繋がったら、まず keymap の設定のため、

```
apt-get update
apt-get install kbdcontrol
```

をして、console の keymap を選んでください。(console-data は使えません) インストール後は、Debian GNU/Linux とどこが違うのか分からない程、まさに Debian です。

<sup>\*5</sup> qemu の場合デフォルトでは dhcp で IP アドレスが取得できます

## 7.1 参考文献

- Installing Debian GNU/kFreeBSD <http://glibc-bsd.alioth.debian.org/doc/>: インストール方法が詳しく記載されています。





Debian 勉強会資料

2009年6月20日 初版第1刷発行

東京エリア Debian 勉強会（編集・印刷・発行）

---